

TN-SCOPE news

徳島県立富岡西高等学校・SSH(スーパーサイエンスハイスクール)情報

第4号
令和3年5月

SSH
文部科学省より指定
(令和元年度)

富岡西高校は夢へのスタートライン!

富西が目指すSSHは“**人財育成**”国際感覚を持った人財を育てます。
富西で“**つながる**”“**つなげる**”…「地域」「世界」そして「未来」。

科学的探究活動から地域社会をイノベーション

SSH2年目となる昨年12月から本年3月の取組の一端を紹介します!

学校全体での取組

台湾オンライン交流会 令和3年1月15日

台湾の国立新化高級中學(National Hsin Hua Senior High School)と4回目のオンライン交流会を行いました。今回は、地域社会をテーマに交流しました。本校からは普通科2年次生がSAで発表した「上勝町の人口減少と空き家の活用」と「牟岐町の魅力を発信」について、英語でプレゼンテーションを行いました。新化高級中學の生徒のみなさんには、本校生が取り組んでいる課題研究について理解してもらうことができ、交流のステップアップにつながりました。



台湾のペンパルとの交流 令和3年1月～3月

台湾の国立新化高級中學(National Hsin Hua Senior High School)から、年賀状とマスク(ALL Made in Taiwan 1750枚)が届きました(令和3年1月)。「Fight COVID-19 Together」のメッセージも添えられていて、温かい心遣いに感激しました。

お礼として、家庭科部にも協力してもらい、徳島の藍で染めた布を使って「あずま袋」を作って送りました。1つ1つの交流を通じて、お互いの友情と理解が深まって行くことを実感できました。



とくしま“ひと・まち”づくり実践講座「遍路道とまちづくり」 令和3年1月～3月

SSH「地域創生を可能にする地域資源の活用や地域連携の研究」の一環として、とくしま“ひと・まち”づくり実践講座「遍路道とまちづくり」を理数科・普通科2年次生15名が受講しました。4回の講座で、遍路道に関する歴史と現状、文化遺産としての価値を学ぶことができました。最後には、遍路道を実際に歩き、講座内容を実感することができました。とても貴重な体験ができました。



普通科SAでの取組

▶▶▶ SA発表会 令和2年12月18日

講師：データ&ストーリーLLC代表 多摩大学大学院 客員教授
横浜国立大学 非常勤講師 柏木 吉基 先生

SAアドバンスで2年次生が取り組んだ課題研究の成果についてクラス内発表を行いました。柏木先生にはZoomでご参加いただき、さらなるレベルアップにつながる貴重なアドバイスをいただきました。この発表会でクラスごとに代表研究を選出し、2月に選抜者発表会を実施しました。



▶▶▶ SA構想発表会 令和3年2月17日

講師：データ&ストーリーLLC代表 多摩大学大学院 客員教授
横浜国立大学 非常勤講師 柏木 吉基 先生

1年次生がSAベーシックで取り組む課題研究について、現時点での構想を発表しました。この1年間学んだことをもとにして、これから行おうとしている課題研究のテーマ・目的・仮説・研究方法などを発表し、質疑応答を行いました。柏木先生にはZoomで参加していただき、アドバイスをいただきました。



理数科SSでの取組

▶▶▶ スペシャリストアカデミー

①ものづくりの楽しさと挑戦 ～徳島・阿南の未来に向けて～ 令和2年12月2日

講師：有限会社 岸火工品製造所 専務取締役 岸 洋介 氏

「花火師は一瞬の感動に手間と想いをかける」として、①これまでの歩み、②花火競技大会、③今後の花火業界、の順にお話してくださいました。花火を製造するだけでなく、人々に喜んでいただける大会などをプロデュースする力量を身につけたいと語られました。花火の発色を課題研究のテーマとしている生徒もいて、大変参考になるお話を聞くことができました。



②内閣府ムーンショット型研究開発制度が 実現する近未来の医療と医科学 ～未来の研究開発者への提言～ 令和3年1月15日

講師：独立行政法人国立病院機構 徳島病院 高田 信二郎 先生

ムーンショット型研究開発制度とは、人々を魅了する野心的な目標を掲げて世界中の研究者の英知を結集しながら困難な社会課題の解決を目指し、挑戦的な研究開発を進める研究開発制度であり、この制度のもと、我が国の医科学分野での破壊的イノベーション創出に向けた現在進行中の挑戦と成果(徳島病院での先進的な取り組みも含む)について話してくださいました。「研究開発には直感が不可欠である。直感を強化するためには、深く狭い専門知識を身につけるだけでなく、浅く広い知識を身につけることも重要であり、何事にも興味を持ってしっかり学習して欲しい」と締められ、生徒たちに大きなエールをくださいました。



▶▶▶ 第2回徳島県SSH高等学校課題研究及び 科学部研究研修会(オンライン) 令和3年2月19日

指導者：徳島大学工学部理工学応用理数コース

三好 徳和 先生(化学)	石田 啓祐 先生(地球科学)
小山 晋之 先生(物理学)	久田 旭彦 先生(物理学)
渡部 稔 先生(生物学)	片山 真一 先生(数学)
大淵 朗 先生(数学)	上野 雅晴 先生(化学)

参加者：理数科1年次生40名

昨年11月の第1回を受けて行われました。グループごとに課題研究の進め方について発表しました。質疑応答を通して、具体的なアドバイスをたくさんいただくことができました。



▶▶▶ 徳島県SSH生徒研究合同発表会 (オンライン) 令和3年3月21日

参加者：理数科1・2年次生80名

県内のSSH校4校(城南高校・脇町高校・徳島科学技術高校・本校)をはじめ7つの学校・団体が合同発表会を開催しました。3分科会(物理、生物、化学・地学・他)に分かれ、発表と質疑応答を行いました。事後の質問票による質問も可能で、本校生徒にとって、他校生の課題研究に触れる機会をもてたことは、これからの研究を深化させるための貴重な財産となりました。

